東京大学 150 周年記念事業

2025 年度 医科学研究所・大気海洋研究所

合同奄美シンポジウム 要旨集

テーマ

プラネタリーヘルス

医科学と海洋科学研究が描く奄美発の新航路

ご挨拶

東京大学医科学研究所と大気海洋研究所は、奄美の地において合同シンポジウム「プラネタリーヘルス：医科学と海洋科学研究が描く奄美発の新航路」を開催いたします。医科学研究所は、1905 年（明治 38 年）に奄美大島に設立された東京帝国大学伝染病研究所にその起源を持ち、以来 120 年にわたり、熱帯・亜熱帯地域を中心とした感染症研究・霊長類研究を継続、維持してきました。一方、大気海洋研究所は、奄美周辺を流れる黒潮の観測・解析を通じて地球規模の気候変動と海洋環境を理解する新たな研究教育プロジェクト「亜熱帯・Kuroshio 研究教育拠点の形成と展開」を 2021 年から開始しました。いずれの研究所も、関連部局や連部局や国内外研究機関、大学等と連携して、奄美というフィールドに長年にわたり関わり、独自の知見を蓄積してきました。

本シンポジウムは東京大学 150 周年記念事業「記念イベント」として開催します。東京大学創立 150 周年を迎えるにあたり、大学の歴史と未来を奄美という原点の地で再確認する本シンポジウムは、極めて意義深いものです。医科学研究所は奄美大島での創設を通じて東京大学における感染症研究の礎を築き、大気海洋研究所もまた奄美を地球環境変動研究の重要拠点として位置づけてきました。こうした歴史的背景を踏まえつつ、プラネタリーヘルスという新たな視座のもと、地域から世界、そして次世代へと展開する未来志向の活動として、本記念イベントを実施いたします。

本シンポジウムでは、これまでの両研究所の知の蓄積を共有し、自然環境・生態系・地域社会の健康に対する包括的な理解を目指して、学際的な連携と新たな研究の萌芽を育みます。変動する気候、人の移動、そして新興感染症など、現代社会が直面する課題に対して、海洋と医科学の知見が交差することは、持続可能な未来に向けた新たな知の創出につながると信じています。奄美という豊かな自然と文化の中で、学術と地域、過去と未来、そして異なる分野の知が融合する機会となることを願い、皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

東京大学医科学研究所　　教授　真下 知士
東京大学大気海洋研究所　教授　横山 祐典

開催概要

名称	東京大学 150 周年記念事業 2025 年度 医科学研究所・大気海洋研究所合同奄美シンポジウム
会期	2025 年 11 月 4 日（火）～11 月 8 日（土）
会場	アマホーム PLAZA（奄美市市民交流センター） 奄美市名瀬柳町 2 番 1 号、0997-52-1816
実行委員会	＜東京大学医科学研究所＞ 真下　知士 川合　覚 案浦　健 吉見　一人 石田　紗恵子 石井　健 根岸　英雄 岸本　栄美 ＜東京大学大気海洋研究所＞ 横山　祐典 平林　頌子 早川　淳 柴辻　智子

日程表

11 月 4 日（火）医科学研究所シンポジウム

[プログラム]	[時間]	[会場]
セッション 1	16:00～17:30	1 階 マチナカホール
情報交換会	19:00～21:00	山羊島ホテル

11 月 5 日（水）医科学研究所シンポジウム／SCARDA シンポジウム

奄美医科学研究施設見学 1	9:00～12:30	ホテルウエストコート奄美 I ⇔ 奄美医科学研究施設
セッション 2	9:30～11:00	1 階 マチナカホール
セッション 3	11:00～12:00	1 階 マチナカホール
昼食	12:00～13:00	3 階 中多目的室・工芸室
ポスターセッション 1	13:00～14:30	2 階 マチナカギャラリー
セッション 4	14:30～16:10	1 階 マチナカホール
セッション 5	16:10～17:50	1 階 マチナカホール

11 月 6 日（木）大気海洋研究所シンポジウム／医科研・大海研 合同シンポジウム

セッション 6	9:30～10:50	1 階 マチナカホール
セッション 7	10:50～11:50	1 階 マチナカホール
昼食	11:50～13:00	3 階 中多目的室・工芸室
セッション 8	13:00～15:30	1 階 マチナカホール
セッション 9	15:30～17:35	1 階 マチナカホール
意見交換会	19:00～21:00	奄美観光ホテル

11 月 7 日（金）大気海洋研究所シンポジウム

奄美医科学研究施設見学 2	9:00～12:30	ホテルウエストコート奄美 I ⇔奄美医科学研究施設
セッション 10	9:30～12:00	1 階 マチナカホール
昼食	12:00～13:00	3 階 中多目的室・工芸室
ポスターセッション 2	13:00～14:00	2 階 マチナカギャラリー
セッション 11	14:00～16:50	1 階 マチナカホール
セッション 12	16:50～18:30	1 階 マチナカホール

11 月 8 日（土）大海研・医科研 合同普及講演会

合同普及講演会	9:30～12:05	1 階 マチナカホール
高校生ポスターセッション	13:00～14:30	2 階 マチナカギャラリー

参加者の皆様へ

講演者へのご案内

- ご講演に際しましては、会場設置の共用 PC をご利用いただきます。ご自身の PC を直接接続しての発表はご遠慮ください。
- 発表資料の事前受付がお済みでない方は、1F マチナカホール前方左側（会場図参照）までデータをお持ちください。
- データはウイルスチェックを行い、USB フラッシュドライブ（タイプ A コネクタ）に保存してご持参ください。
- 各セッションの 15 分前までに動作確認を行ってください。込み合うことも予想されますのでお早めに確認をお願いします。
- ご自身で演台上のコンピュータを操作していただきます。
- 本シンポジウムは zoom にて WEB 配信をいたします（SCARDA シンポジウムを除く）。
- お預かりしたデータはシンポジウム終了後、事務局が責任をもって消去いたします。

ポスター発表者へのご案内

- 掲示会場は 2F マチナカギャラリーとなります。
- 準備されたポスターを所定の番号位置に各自でご掲示ください。演題番号は要旨集をご参照ください。
- ポスター発表は座長等設けておりませんが、活発な議論をお願いいたします。
- 撤収は各日ポスターセッション終了後、速やかに各自で行ってください。

会場のご案内

＜シンポジウム＞

アマホーム PLAZA（奄美市名瀬柳町 2-1）

＜情報交換会＞

山羊島ホテル（鹿児島県奄美市名瀬大熊字鳩 1382-1）

＜意見交換会＞

奄美観光ホテル（鹿児島県奄美市名瀬港町 2-10）

奄美医科学研究施設見学について（要予約）

8:50 にホテルウエストコート奄美Ｉエントランスに集合してください。団体行動になりますので、時間を守っていただきますようご協力をお願いします。

9:00	ホテルウエストコート奄美Ｉ出発
10:00	奄美医科学研究施設到着、施設見学
11:30	奄美医科学研究施設出発
12:30	ホテルウエストコート奄美Ｉ到着

お問い合わせ先

奄美医科学研究シンポジウム事務局（東京大学医科学研究所）

Web：www.ims.u-tokyo.ac.jp/amami/symposium2025

Mail：alia_sympo-group@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

東京大学大気海洋研究所

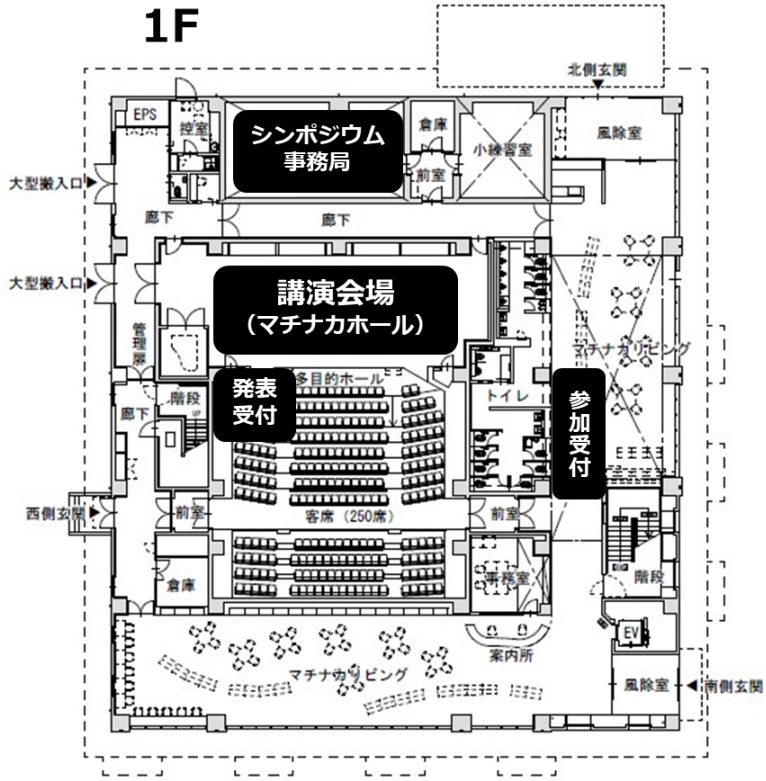
TEL: 080-7130-1438, FAX:04-7136-6148

東京大学医科学研究所奄美医科学研究施設

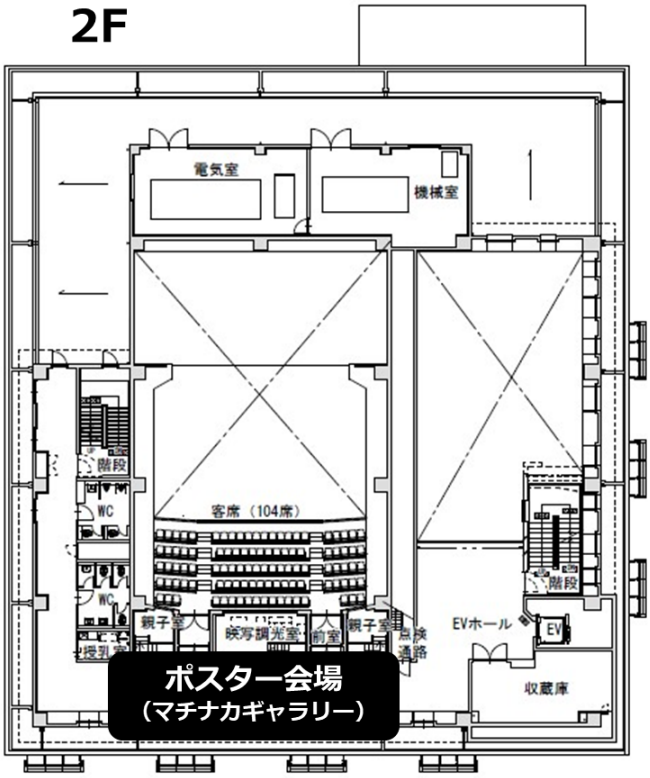
住所：〒894-1531 鹿児島県大島郡瀬戸内町手安 802, TEL:0997-72-0373

会場図

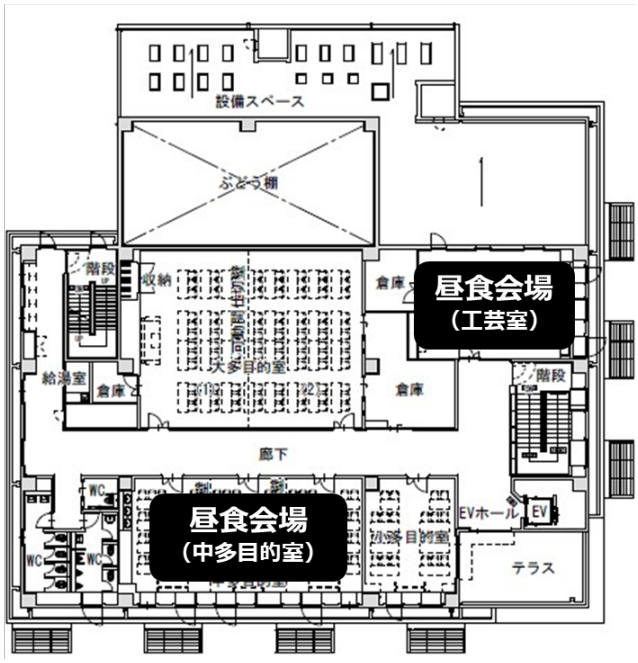
アマホームPLAZA
1F



アマホームPLAZA
2F



アマホームPLAZA
3F



プログラム

11 月 4 日（火）

医科学研究所シンポジウム

セッション 1

座長：川合　覚（東京大学医科学研究所）

16:00～16:10	開会挨拶 真下　知士（東京大学医科学研究所）
16:10～16:30	**奄美医科学研究施設の近況** 川合　覚（東京大学医科学研究所）
16:30～16:50	**マーモセットについて** 佐々木　えりか（公益財団法人実中研）
16:50～17:10	**Korean Marmoset Model Resource Bank and Disease Model** Byeong-Cheol Kang（Seoul National University）
17:10～17:30	**Innovative vaccine evaluation system for 100 days mission** 石井　健（東京大学医科学研究所）
19:00～21:00	情報交換会

11 月 5 日（水）

医科学研究所シンポジウム

セッション 2

座長：案浦　健（国立感染症研究所／東京大学医科学研究所）

　　水上　修作（長崎大学熱帯医学研究所）

9:30～9:50	**真核生物多様性を拡張するゲテモノたち：ゲテモノチャンピオン渦鞭毛藻に関する最近のトピック** 稲垣　祐司（筑波大学計算科学研究センター）
9:50～10:10	**Double-Edged Parasite: Plasmodium coatneyi as Both Public Health Concern and Research Asset** Bruce Russell（University of Otago）
10:10～10:30	**新興感染症対策における感染病理学研究** 鈴木　忠樹（国立健康危機管理研究機構／国立感染症研究所）
10:30～10:50	**SHIONOGI におけるワクチン開発研究** 大本　真也（塩野義製薬株式会社）
10:50～11:00	休憩

セッション 3

座長：水上　修作（長崎大学熱帯医学研究所）

　　案浦　健（国立感染症研究所／東京大学医科学研究所）

11:00～11:20	**非ヒト霊長類（循環器）病態モデルの探索と応用** 中山　駿矢（日本大学生物資源科学部）
11:20～11:40	**アミロイド関連疾患の進化的多様性** 村上　智亮（東京農工大学農学部）
11:40～12:00	**ニホンザル血小板減少症** 岡本　宗裕（国立感染症研究所）
12:00～13:00	昼食
13:00～14:30	ポスターセッション 1 ＜奇数番号＞13:00～13:45　＜偶数番号＞13:45～14:30

11 月 5 日（水）

SCARDA シンポジウム

セッション 4

座長：新藏　礼子（東京大学定量生命科学研究所）

14:30～14:50	**ウイルスの抗原性、流行株、進化の予測** 伊東　潤平（東京大学医科学研究所）
14:50～15:10	**シングル B 細胞解析によるヒト液性免疫応答の理解** 井上　毅（東京大学新世代感染症センター）
15:10～15:30	**ワクチン効果の指標となる免疫サロゲートマーカーの探索研究** 高橋　宜聖（国立健康危機管理研究機構）
15:30～15:50	**重症感染性肺炎から肺修復を目指す** 反町　典子（東京大学大学院理学系研究科）
15:50～16:10	休憩

セッション 5

座長：反町 典子（東京大学大学院理学系研究科）

16:10～16:30	**滅菌大腸菌アジュバントを用いた IgA 多量体抗体による粘膜強化** 新藏　礼子（東京大学定量生命科学研究所）
16:30～16:50	**緊急感染症対策　-Mpox の事例-** 保富　康宏（医薬基盤・健康・栄養研究所）
16:50～17:10	**重症 Mpox 動物モデル：** **カニクイザルとマーモセットの比較病理学的研究** 永田　典代（国立健康危機管理研究機構／国立感染症研究所）
17:10～17:30	**Introducing novel malaria drug modality** COBAN Cevayir（東京大学医科学研究所）
17:30～17:50	**ハイスループット解析に基づく抗原―抗体間相互作用の理解と設計** 松長　遼、津本　浩平（東京大学大学院工学系研究科）
19:00～	情報交換会（石井班）

11 月 6 日（木）

大気海洋研究所シンポジウム

セッション 6　**地球科学**

座長：早川　淳（東京大学大気海洋研究所）

9:30～9:40	開会挨拶
	兵藤　晋（東京大学大気海洋研究所）
9:40～10:00	**海底の火山と温泉を旅する**
	沖野　郷子（東京大学大気海洋研究所）
10:00～10:20	**奄美群島周辺の海域利用を考える**
	荒井　晃作（産業技術総合研究所地質調査総合センター）
10:20～10:40	**Water mass stability in the Okinawa Trough since the last glaciation**
	オブラクタ　スティーブン（秋田大学国際資源学研究科）
10:40～10:50	休憩

セッション 7　**人文科学**

座長：平林　頌子（東京大学大気海洋研究所）

10:50～11:10	**瀬戸内町の近代遺跡調査と活用**
	鼎　丈太郎（瀬戸内町教育委員会社会教育課）
11:10～11:30	**海底地形探査で明らかになった米軍艦エモンズと日本軍特攻機の戦闘：戦後 80 年にあたって伝えたいこと**
	菅　浩伸（九州大学浅海底フロンティア研究センター）
11:30～11:50	**知られざる伝道史？ー奄美の「信仰世界」と「世界」**
	西村　明（東京大学大学院人文社会系研究科）
11:50～13:00	昼食

11 月 6 日（木）

医科学研究所・大気海洋研究所 合同シンポジウム

セッション 8

座長：横山　祐典（東京大学大気海洋研究所）

13:00～13:25	**奄美大島と医科学研究所**
	岩間　厚志（東京大学医科学研究所 所長）
13:25～13:50	**慢性感染症の制圧に向けて**
	俣野　哲朗（国立健康危機管理研究機構／国立感染症研究所 所長）
13:50～14:15	**奄美病害動物実験施設から奄美医科学研究施設への変容**
	真下　知士（東京大学医科学研究所奄美医科学研究施設 施設長）
14:15～14:40	**熱帯医学・グローバルヘルスからプラネタリーヘルスへ―長崎大学の挑戦―**
	北　潔（長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科 研究科長）
14:40～15:05	**Imaging metabolomics 法による臓器の機能解析**
	末松　誠（公益財団法人実中研 所長）
15:05～15:30	休憩

セッション 9

座長：真下　知士（東京大学医科学研究所）

15:30～15:55	**海洋環境変動と大気海洋研究所の取り組み**
	兵藤　晋（東京大学大気海洋研究所 所長）
15:55～16:20	**亜熱帯 Kuroshio プロジェクト：大気海洋研究とプラネタリーヘルス**
	横山　祐典（東京大学大気海洋研究所 教授）
16:20～16:45	**単純ヘルペスウイルス感染の分子基盤**
	川口　寧（東京大学医科学研究所 副所長）
16:45～17:10	**東京大学の地域連携活動**
	河村　知彦（東京大学執行役／副学長）
17:10～17:15	津田　敦（東京大学理事／副学長）

19:00～21:00	意見交換会

11 月 7 日（金）

大気海洋研究所シンポジウム

セッション 10　**総合知**

座長：早川　淳（東京大学大気海洋研究所）

9:30～9:50	**海と希望の学校による海の総合知創出**
	青山　潤（東京大学大気海洋研究所）
9:50～10:10	**「ルーツ」を意識した探究活動と進学・就職指導**
	大倉　秀心（鹿児島県立与論高等学校）
10:10～10:30	**島々が語る、南への誘い ― 琉球弧を旅して**
	堂薗　幸夫（鹿児島県立大島高等学校）
10:30～10:45	休憩
10:45～11:05	**九州財務局の「地域連携」について～総合知の視点から～**
	川西　浩司（財務省九州財務局）
11:05～11:25	**世界自然遺産の保全を通じた地域づくり**
	広野　行男（環境省奄美群島国立公園管理事務所）
11:25～11:45	能見　駿一郎（文部科学省総合教育政策局）
11:45～13:00	昼食
13:00～14:00	ポスターセッション 2

セッション 11　**産官学連携**

座長：横山　祐典（東京大学大気海洋研究所）

14:15～14:30	**外からみた奄美、環境文化の息づく奄美**
	則久　雅司（環境省大臣官房）
14:30～14:45	**水資源の新たなかたち – 喜界島における地下ダムの取組**
	百濟　昌人（農林水産省九州農政局喜界島農業水利事業所）
14:45～15:00	**改正奄振法と成長戦略ビジョンの今後の展望**
	池田　忠徳（奄美群島広域事務組合）
15:00～15:15	**奄美がなぜ異分野協働とプラネタリーヘルスの探究の場になりえるのか？**
	勝　眞一郎（サイバー大学 IT 総合学部）
15:15～15:25	休憩

15:25～15:40　**シルクフィブロイン含有外用剤（シルケイド）の褥瘡に対する有効性の検証**

西　博顯（株式会社アーダン）

15:40～15:55　**一般社団法人日本シニア起業支援機構；J-SCORE について**

佐飛　峯雄（日本シニア起業支援機構）

15:55～16:10　**奄美生まれ、鹿児島育ち**

乗峯　孝志（日本エアコミューター株式会社）

16:10～16:25　**奄美〈環境文化〉教育プログラムのこれまでとこれから**

小栗　有子（鹿児島大学法文教育学域法文学系法文学部）

16:25～16:40　**奄美群島における「稼ぐ力」の向上に向けて**

松藤　啓介（鹿児島県大島支庁）

16:40～16:50　休憩

セッション 12　**生物学**

座長：青山　潤（東京大学大気海洋研究所）

16:50～17:10　**奄美群島における海産資源マガキガイ（トビンニャ）の漁業と資源管理の現状と今後**

河合　渓（鹿児島大学国際島嶼教育研究センター）

17:10～17:30　**地域的磯根資源の資源生態学的研究～奄美群島の”とこぶし”と”うに”について～**

早川　淳（東京大学大気海洋研究所）

17:30～17:50　**遺伝子組換えカイコによる地域新産業の創出**

瀬筒　秀樹（農業・食品産業技術総合研究機構）

17:50～18:10　**アマミノクロウサギミュージアム Quru Guru の施設紹介と取り組みについて**

豊田　英人（アマミノクロウサギミュージアム Quru Guru）

18:10～18:30　**沖縄・奄美の生きている砂：有孔虫**

藤田　和彦（琉球大学理学部物質地球科学科）

18:30～18:35　閉会挨拶

齊藤　宏明（東京大学大気海洋研究所）

11 月 8 日（土）

大気海洋研究所・医科学研究所 合同普及講演会

座長：横山　祐典（東京大学大気海洋研究所）

9:30～9:35	開会挨拶
9:35～10:05	**危険だけれど面白いハブの話**
	服部　正策（東京大学医科学研究所奄美医科学研究施設 元職員）
10:05～10:35	**マラリア：コロナ禍で悪化した感染症と奄美での研究**
	案浦　健（国立感染症研究所／東京大学医科学研究所）
10:35~11:05	**奄美野生動物医学センターにおける保全活動と将来展望**
	新屋　惣（奄美野生動物医学センター）
11:05～11:35	**「海と希望の学校 in 奄美」の取り組み**
	平林　頌子（東京大学大気海洋研究所）
11:35～12:05	**地球温暖化と島のアイデンティティ**
	矢口　祐人（東京大学大学院総合文化研究科）
12:05～12:10	閉会挨拶
13:00～14:30	高校生ポスターセッション